新燃岳の対応状況について

1 気象台(6.23 18:30 噴火警戒レベル3、警戒範囲3km)

※ 7月10日火山活動解説資料抜粋

- ・ 現段階では、警戒レベル3、警戒範囲3kmを維持
- ・ 新燃岳火口から概ね3kmの範囲で大きな噴石などに注意
- ・ 新燃岳火口内の北東側において、列状に並んだ複数の火孔を確認
- ・ 新燃岳火口内の南東部に新火孔を確認
- ・ 西側斜面の割れ目付近の地熱域が火口方向に拡大
- ・ 6月22日以降、火山性微動が断続的に発生。また、6月の火山性地震は3,076回で5月(1,021回)と比較して増加
→ 2018年のようなマグマ噴火に移行する可能性はある。

※ 産総研情報(7.8)の評価

7月2～4日に新湯三叉路付近の火山灰を分析した結果、新しいマグマに由来する物質は、噴火が始まった6月28日までは1%未満だったのに対し、7月2日の噴火の際は約3%であった。地下から供給されるマグマの放出状況を反映している可能性がある。

→ 新しいマグマが混じっているが、現状では水蒸気噴火ともマグマ噴火とも言えない状況

2 被害

- (1) 人的被害： なし
- (2) 物的被害： 霧島地区の送水管の損傷
 - ア 水道管： 7月16日16時頃、仮復旧
 - イ 温泉管
 - ・ 7月22日、仮復旧し、24日夕、霧島地区全域の温泉供給事業者等への送湯確認
 - ・ 仮設迂回ルートの工事が完了し、8月5日、送湯管切替作業及び調整完了
- (3) 農作物や畜産等の7月4日時点での被害は確認されていない(降灰による付着程度であるが、お茶の農場によっては、除灰にかなりの労力をかけている。)。7月8日時点では、葉物に若干の被害を確認
お茶・野菜・花卉・果樹、椎茸、飼料作物

3 県等の対応状況

- (1) 鹿児島県
 - ア 県道104号： 6月23日20時10分バリケード設置完了(18時30分に県道HP規制表示)
 - イ 国道223号・県道1号
 - ・ 7月2・3日： ロードスーパー1チームで除去
 - ・ 7月4・5日： ロードスーパー3チーム(国道：2、県道：1)で除去
 - ウ 高千穂河原
7月14日から断水し、8月7日16時15分、断水解消を確認
 - エ 霧島川災害関連緊急砂防事業
 - ① 霧島川砂防堰堤(霧島川10号堰堤、霧島川11号堰堤、神宮川1号堰堤)の緊急除石(約6万 m^3)(7月18日採択)
 - ② 上記の霧島川10号堰堤及び霧島川11号堰堤の緊急除石について7月29日着手
 - ③ 霧島川砂防堰堤(霧島川5号堰堤、霧島川6号堰堤)の緊急除石(約3万 m^3)及び流木捕捉工の設置2基(霧島川11号堰堤、神宮川1号堰堤)(8月6日採択)

- (2) 宮崎県（霧島山火山防災協議会関係機関 web 会議：7月8日）
環境大気測定局 15 か所（新燃岳周辺では小林市と都城市）で大気測定し、7月4日
小林保健所で基準を超えたことから、二酸化硫黄注意報を発令
- (3) 高原町（同上）
6月24日（火）から町内5カ所で火山ガス測定を開始。以降、毎日午前10時測定

4 市の対応状況

- (1) 市の体制： 災害警戒本部体制(7月10日17時30分)
- (2) 6月23日
- ア 防災行政無線(19:09)及びきりしま防災・行政ナビ(19:12)で登山者への避難指示及び市民に注意喚起。以降必要に応じ逐次市民に情報提供
 - イ 新燃荘に対する避難の呼びかけ(19:07)
 - ウ 関係課で情報共有会議を実施(19:20)
- (3) 6月24日
- ア 登山道等規制図の張り替え：9時完了
 - イ 市道永池～湯之野線の規制：10時、看板設置
 - ウ ビジターセンター及びパークサービスセンター
 - ・ 通常営業
 - ・ 3カ所（鹿ヶ原、中岳登山道入口(11:50)、大浪池東側登山道(16:20))通行止め
 - エ きりしま周遊バス
県道104号通行止めに伴う「新湯温泉～高千穂河原区間」運休を市HPで通知
- (4) 観光関係
- ア 霧島連山周遊バス
 - ・ 7月3日10時30分丸尾発の便から運休
 - ・ 7月5日から、「新湯温泉～高千穂河原区間」のみ運休
 - イ 霧島神話の里公園・道の駅「霧島」
 - ・ 7月3日までの降灰により、7月4日から当面の間、臨時休業（道の駅のトイレ・駐車場は使用可）
 - ・ 7月5日： 道の駅「霧島」再開
 - ・ 7月6日： 通常営業
 - ウ 霧島市霧島温泉健康増進交流センター「神乃湯」
 - ・ 7月11日から当分の間、休業
 - ・ 7月25日10時から再開
 - エ 霧島市観光案内所（大鳥居横）前の足湯
 - ・ 7月11日10時から休止
 - ・ 7月25日から再開
 - オ 霧島神宮駅前の足湯
 - ・ 7月12日から休止
 - ・ 7月25日から再開
 - カ 高千穂河原
 - ・ 7月14日から断水し、自然公園財団職員が給水
 - ・ 7月16日10時55分以降、市給水車（2tタンク積載）を配置
 - ・ 8月7日16時15分、断水解消を確認
- (5) 学校関係
- ア 7月2日
 - ・ 高千穂小学校：午後より臨時休校
 - イ 7月3日
 - ・ 霧島小学校： 親の送迎等で下校
 - ・ 霧島中学校： 6校時終了後、部活動を中止し下校

- ・ 牧園・横川地区公立保育園 3 園は早めのお迎えを依頼
- ・ 牧園地区
保育園 2 園及び小学校 5 校に支所からマスクの提供(12 箱(1 箱 1,800 枚入り))
があったので、世帯に配付し、マスクの着用を依頼
- ウ 7 月 4 日
 - ・ 通常どおり
 - ・ 霧島地区及び牧園地区の小中学校は登下校時ヘルメット着用なし、帽子・マスク着用
- エ 7 月 8 日
牧園中学校にマスク 4 箱(1 箱 1,800 枚入り)配布
- オ 7 月 16 日
高千穂小学校： 水泳の授業を牧園 B & G 海洋センタープールで実施
- (6) 市道の降灰の除去
 - ア 市道永池～湯之野線の状況 (7 月 3 日)
道路の白線が見えず、降灰が 1 mm 以上積もっている状況
 - イ 7 月 2・3 日： 散水車 2 台で市道霧島～牧園線、市道牧園～湧水線に散水
 - ウ 7 月 4・5 日
ロードスイーパー・ダンプ・散水車の 2 チームで上記市道をそれぞれ作業
 - エ 7 月 5 日
ロードスイーパーチームの活動及び 4 日 15 時～17 時の雨 (牧園 64 ミリ、霧島 19 ミリ、神話の里 59 ミリ) により、道路は概ね通常の状態に復旧
- (7) 農業への影響
 - ア 霧島地区
 - ・ 7 月 3 日
田口水利組合、上場水利組合及び白土水利組合で霧島川に濁りを確認 (霧島総合支所付近でも白濁を確認)。
7 月 7 日以降、田口水利組合、上場水利組合、白土水利組合、前田水利組合、待世水利組合、川北水利組合及び大窪水利組合は川の濁りの状況を見ながら、取水と取水停止を判断
 - ・ 7 月 12 日
横岳頭首工 (田口水利組合) が土砂で埋まっており、取水排水が出来なくなっている状況であり、7 月 14 日 (月) 午後から土砂の搬出を開始し、17 日 (木) 作業完了
 - イ 牧園地区
 - ・ 7 月 3 日： 降灰の影響あり
 - ・ 7 月 4 日以降
中津川、小谷川、石坂川の白濁を確認し、経過観察しながら取水
 - ウ 溝辺地区： さほど影響なし (7 月 3 日)
 - エ 水質調査
霧島川から天降川にかけて濁りが発生したことに伴い、新燃岳噴火による農業用水への影響を考慮し、水質調査を実施した。7 月 7 日、9 日、15 日及び 22 日実施分については、農林水産省が定めた基準値内にほぼ収まっている。今後も調査を行い、経過観察を行う。
 - ① 7 月 7 日 (月) ⇒ 7 月 14 日 (月) 公表
 - ② 7 月 9 日 (水) ⇒ 7 月 17 日 (木) 公表
 - ③ 7 月 15 日 (火) ⇒ 7 月 25 日 (金) 公表
 - ④ 7 月 22 日 (火) ⇒ 8 月 1 日 (金) 公表

5 噴火警戒レベルが4になった場合の対応

- (1) 災害警戒本部を設置し、神宮台地区及び高千穂1区自治会に高齢者等避難を発令
- (2) 火口から概ね4 km以内の地域に立入規制
 - ・ 火口から2～4 kmの登山者・観光客等に避難指示
 - ・ 市道永池－湯之野線（ペンション村付近）～県道104号
- (・ 県処置
 - ①登山道、②県道480号（市道永池－湯之野線三叉路～高千穂河原）、③県道1号（いわさきホテル付近～県境）
- (3) 高千穂河原ビジターセンター及びパークサービスセンターを閉鎖

6 その他

- (1) 集灰袋現在数（計 410,420 枚）：8月4日現在

地区	現在数	配布枚数(7/28～8/3)	総配布枚数
国分	118,710	0	290
隼人	7,870	0	130
溝辺	19,990	0	10
横川	5,910	0	90
牧園	176,800	20	1,500
霧島	55,770	0	20
福山支処	15,400	0	0
福山S C	9,970	0	0
配布合計		20	2,040

- (2) マスク保管状況（計 128,700 枚）
 - ・ 旧清水保育園： マスク 63,950 枚、N95 マスク 19,400 枚
 - ・ 国分保健センター： マスク 22,500 枚、N95 マスク 10,850 枚
 - ・ 別館一階： マスク 4,000 枚、ノンサージカルマスク 8,000 枚